

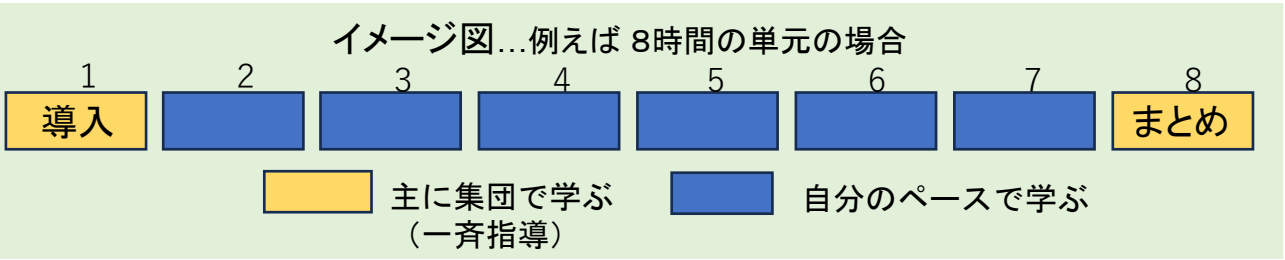
「子どもを主語にした学び」を考える

中目黒小マイプラン学習の取り組みと可能性

佐野亮子（東京学芸大学 非常勤講師）

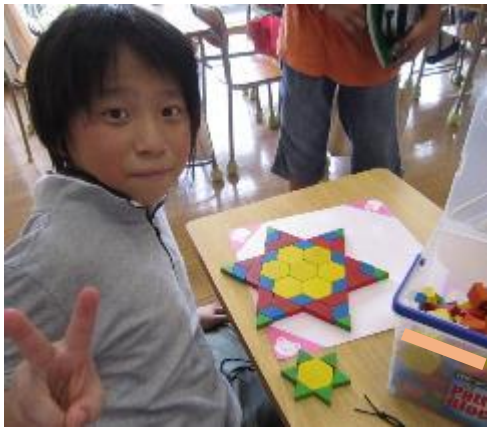
「単元内自由進度学習」とは

単元の学習のはじめに行われるガイダンス（導入）と、単元の終わりに行われるまとめの時間を除いた、その単元の授業時間のほとんどを、子どもが一人で学び進める教科の学習方法である。

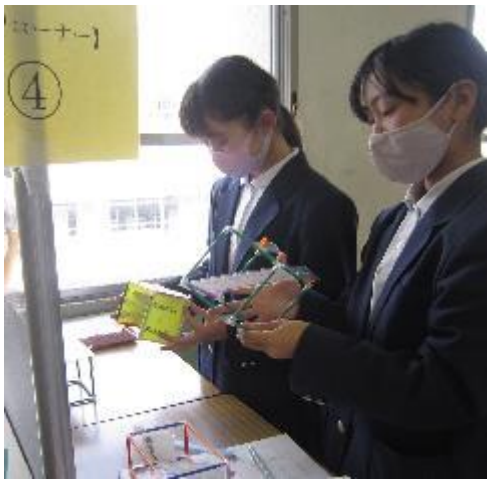


また、実践の特徴から、自分のペースで学べるので「自由進度学習」、自分が立てた計画にそって進めるので「マイプラン学習」、教師に頼らず自分で頑張るので「チャレンジタイム」など、実践校によって様々な呼称が付けられている。

令和の答申以降、個別最適な学びを実現する授業としても、注目されつつある。







「単元内自由進度学習」の由来と起点

戦後「個性重視の教育」の授業改革から生まれた
「自己学習力」を育てるために開発された実践



愛知県・緒川小学校
「週間プログラムによる学習」
1985年頃

「一定の制御形態のもとに自学を進める複数教科同時進行の
単元内自由進度による T. T.（ティーム・ティーチング）」

愛知県東浦町立緒川小学校著『個性化教育へのアプローチ』1983年

子どもの学習ペース（学び方）を大事にすることは
「子どもを主語にした学び」になる

そのために
自由進度にするのは、なんとなくわかる

でも…

なんで「２教科」なの？

「同時進行」って何？

単元選び～自由進度学習をどの教科のどの単元で行うか

ア. 子どもの活動（作業）時間に違いがみられやすい、「実際につくる」「試してみる」「体を動かす」「操作する」「自分で考えてまとめる」「文章を書く」などの課題を含む単元を選ぶ。
イ. 一人で学習する時間数を多く確保するため、大きな単元を選ぶ。
ウ. 複数教科（複数単元）で同時進行（同時展開）するのが効果的。

複数教科（複数単元）で実践するメリット

ア. ２単元分の長期的な取り組みの中で課題のやり直しや繰り返しが可能になる。
イ. 人数分の器具や道具類を揃えなくても一人実験などが成立する。
ウ. ２教科同時展開なので、それぞれ取り組む順番などが変わり、他の人と進み具合が比べられなくなる（真に自分のペースでできる）。
エ. 不要に待たされることがないので必修課題が予定より早く終わり、活用問題や発展学習を楽しむことができる。

複数教科（複数単元）で実践する意図

ア. 今日はどの教科（単元）をやるかの選択は主体的に学ぶ入口となる。
イ. 自己調整する必要や機会が多くなる。
ウ. どのような学び方が自分に合っているかを経験的にたしかめられる。

単元内自由進度学習の特徴 （自己決定と多様な選択肢）

・子どもにとっては…
自分のペースで学習ができる
様々な選択の機会があることで学習意欲が高まる
自分にとっての学習効率があがる

・教師にとっては…

単元を見通した教材研究ができる
子どもを「みとる」機会を得て、児童生徒理解が深まる
直接的指導がない分、事前準備に時間と労力が必要となる

どのような資質・能力の育成を期待できるか（自立した学習者となる）

「好き」を育み
「得意」を
伸ばす

・メタ認知を高め、学習の自己調整力が育つ

学習の計画を立てたり、学習の見通しがもてる
うまくいかない時や予定通りにいかない時にリカバリーができる
困った時には助けを求めることができる

・メタ認知を高め、自己肯定感を上げる

自分の得意なこと、自分らしい学び方があることに気づく
他の人と自分との違いを尊重できる

単元内自由進度学習の準備（構成図）

どんな準備をしているの？

（1）単元構想

①単元選び（複数教科・単元を組み合わせて同時進行することを推奨）
②コース設計（子どもの学習適性を考慮）

環境による教育

（2）学習材開発

①学習のてびき
②学習計画表
（毎時の振り返りを含む）
③学習カード
④発展学習資料・カード

連携

（3）学習環境整備

①補助資料となる掲示物や具体物や操作教材
② ICT環境の整備
③安心して学習に取り組める空間づくり

実践は、学期に1～2回程度、単元を選んで、準備期間を含め見通しをもって行う

中目黒小学校が開発してきた
マイプラン学習

算数科「大きいかずをかぞえよう」

「かずかずのしまの大ぼうけん」



遊びやゲーム的な学習コーナーで
繰り返し活動して習熟をはかる



幼児教育とのつながりを
ねらう

国語科「どんなおはなしができるかな」
×
図画工作科「いっしょにあそぼう　ぱくぱっくん」



2教科合科マイプラン学習

「つくってはなして！はなしてかいて！なりきりめいじんになろう」

国語科「わたしの町をしょうかいしよう」
理科「じしゃくのふしぎ」
図画工作科「マグネットマジック」

3教科合科マイプラン学習

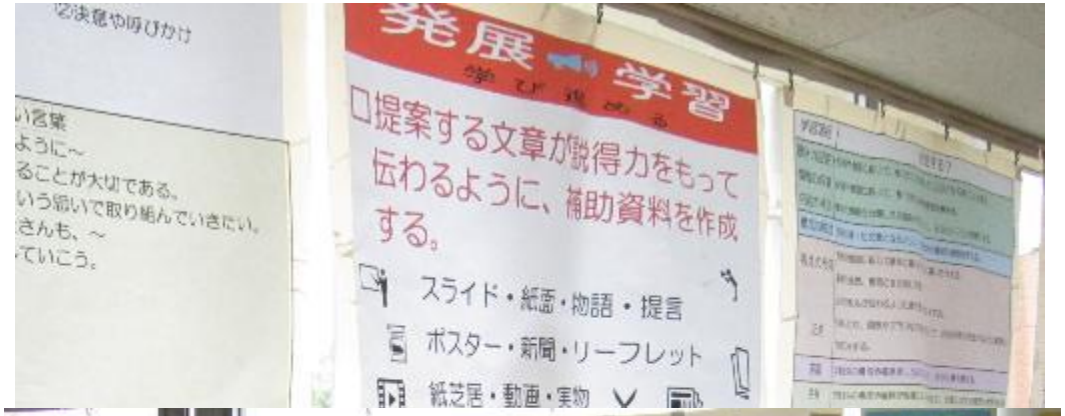
「ナカメスリー」の社員として　おもちゃを開発し、
てんじ会に出品しよう

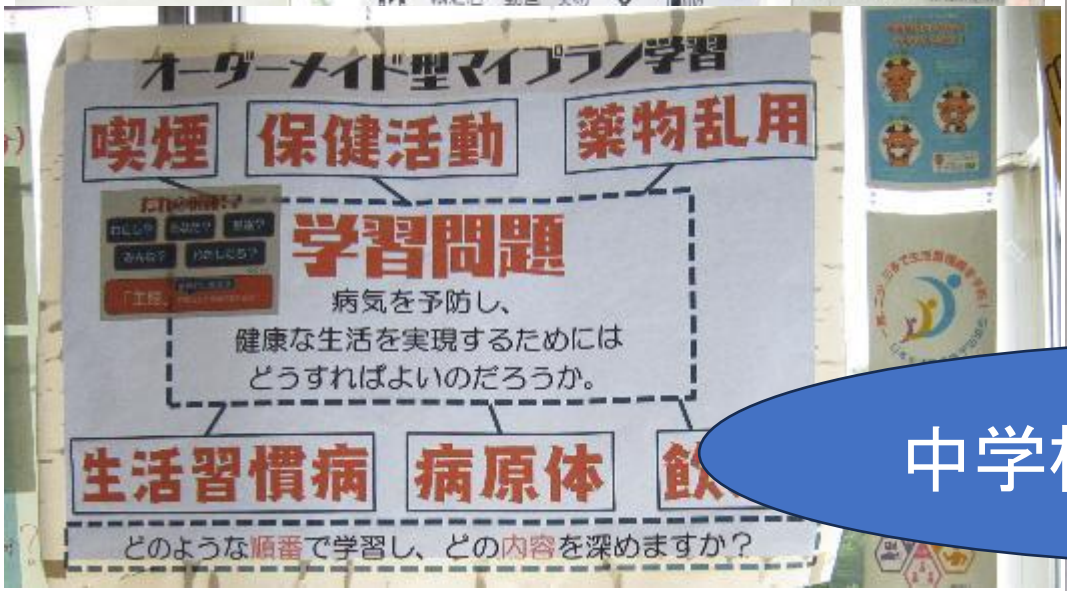


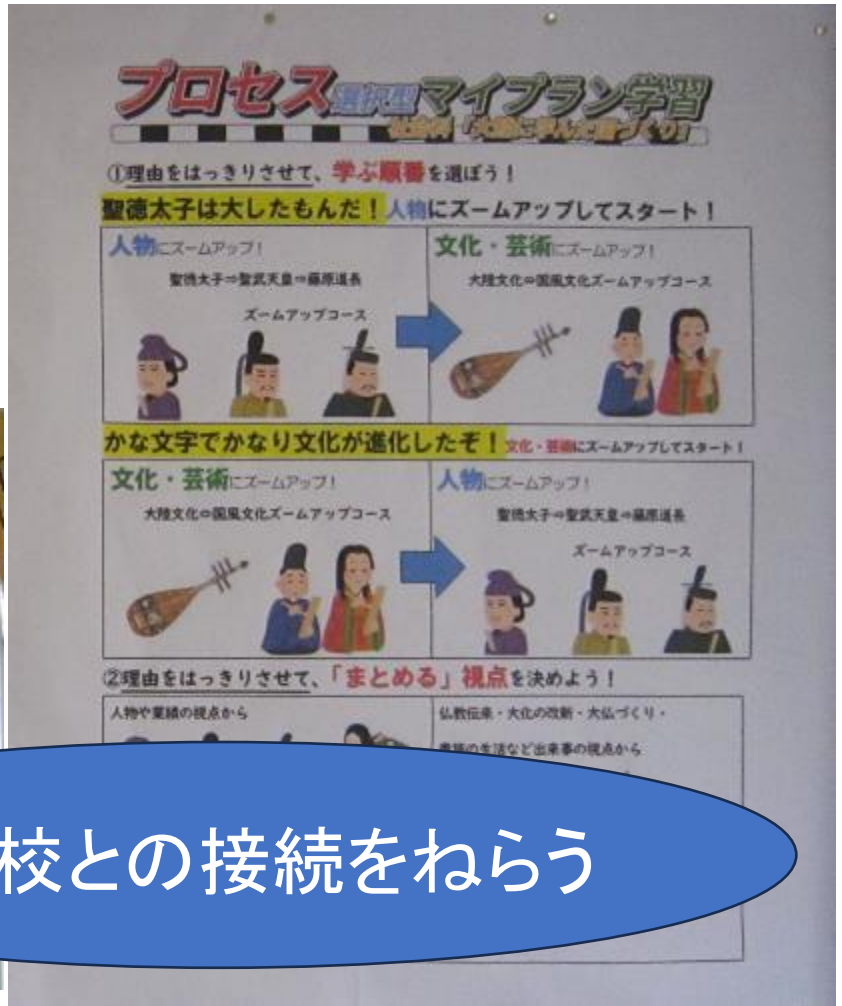


国語科「デジタル機器と私たち」
社会科「大陸に学んだ国づくり」
保健領域「病気の予防」

3教科「同時期進行」マイプラン学習



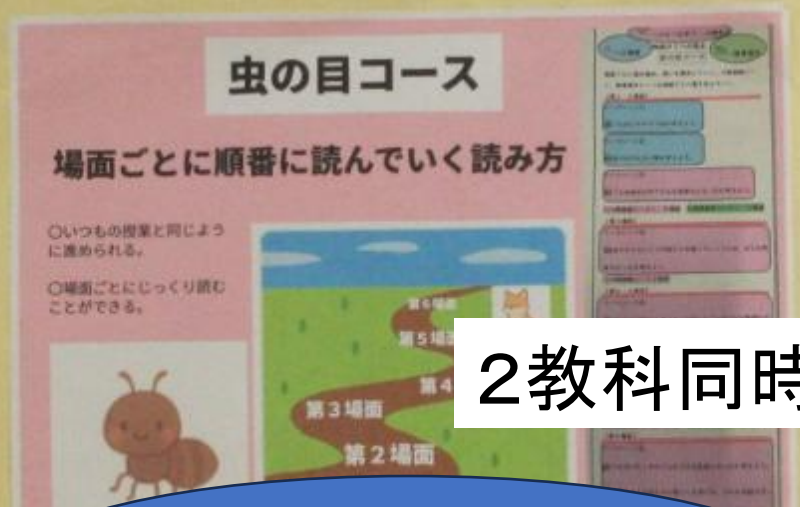


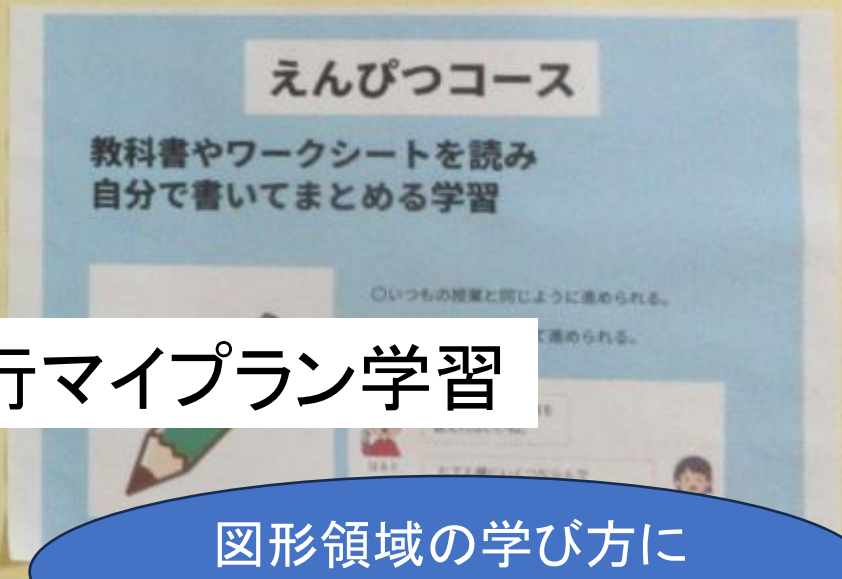


中学校との接続をねらう

国語科「ごんぎつね」

算数科「面積」



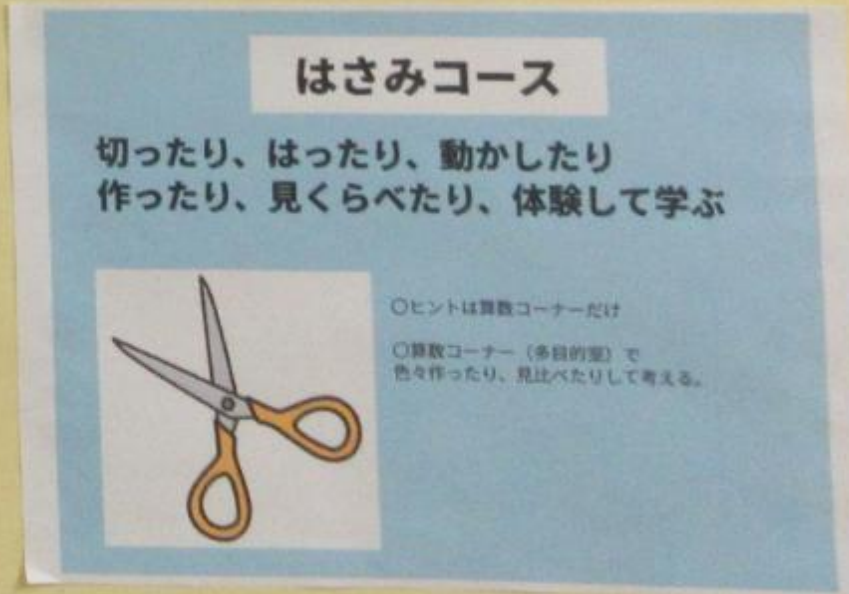


２教科同時進行マイプラン学習

読みの個性にかかわる
コース選択

図形領域の学び方に
かかわるコース選択





「新しい挑戦をし、視座が変わることで、
これまで見えなかったものが見えたりして、
教材の、子どもの、授業の、教師という存在の
捉え直しが（起こる）」

NITS 島谷千春氏

【子ども主体の授業で見えてくるもの】

・学習材や学習環境にどんな工夫があるか

（明確さ、やりやすさ、おもしろさ、安心感、居心地…）

・子どもはどんなふうに学んでいるか

・教師はどのように伴走しているか